

特長



悠久の歴史を刻む伊勢神宮、 人々の営みと自然が織りなす里山里海

伊勢志摩国立公園は、三重県中央部に位置する志摩半島とその周りに広がる国立公園です。伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町にかけて、およそ6万haの広大な面積を占めています。

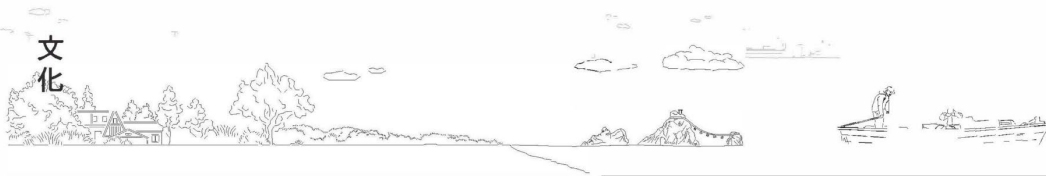
伊勢志摩国立公園は、およそ2つのエリアに分けられます。一つは、伊勢神宮と背後に広がる自然豊かな森林環境を中心とした内陸のエリア、もう一つは複雑な地形・地質及び小さな入り江と岬が無数に点在するリアス海岸に代表される海沿いのエリアです。ほかの国立公園に比べると、民有地の割合が非常に高く（96%以上）、公園内の居住人口も非常に多いため、地域の方たちの生活、歴史、文化、風習などに深く触れることができるのが特長で、美しい景観を誇るとともに人と自然の関わりを感じさせてくれる国立公園です。

【指定年月日】 昭和21年11月20日 【面積】 55,544ha(陸域)
【関係都道府県】 三重県



英虞湾リアス海岸と真珠養殖筏

文化



伊勢志摩地域は、人々の生活と密接に関係する神社仏閣も多く残され、生活や歴史、文化を包み込む個々の自然は、里山、里海として現在も人々の生活の近くに息づいています。

| 伊勢神宮

古代から人々は太陽を神として仰いできました。伊勢神宮はその信仰の中心にあり、内宮・外宮を中心として約125の社から成り立っています。伊勢神宮の敷地の多くが国立公園内にあります。

| 二見の夫婦岩

夫婦岩は古来より日の出遙拝所として知られてきました。5～7月には、夫婦岩の間から日の出を見ることができ、特に夏至前後の天気の良い日には遠く富士山の背後から昇る日の出を見ることが出来ます。



宇治橋と鳥居



夫婦岩の日の出

あまりょう | 海女漁

鳥羽・志摩は、昔から「御食つ国」として名高いところです。御食つ国とは山海の幸を伊勢神宮に供える地方のことで、鳥羽・志摩では豊かな海と海女がそれを支えてきました。

| 伊勢志摩の祭り

海で働く漁師や海女は、海上安全と大漁満足を神に願います。伊勢志摩には海で働く人たちからの信仰を受けている寺社が各地にあり、それにちなんだお祭りが行われています。「潮かけ祭り」は790年余りの伝統を誇る奇祭で、盛大に海水をかけ合います。



あまりょう
海女漁



アワビ



潮かけ祭り